

予測困難な時代を自律的に生きる学習者の育成 ～エージェンシーを育む(発揮する)学びと、学校・地域づくりのこれから～



- 自己紹介
- 群馬県教育ビジョン
- 時代認識～予測困難な時代～
- どんな学びが行われているのか
- 学校にはできないことがある
- Agencyを発揮してWell-beingをめざす学びとコミュニティ・スクールの大いなる可能性に期待



共愛学園前橋国際大学
共愛学園前橋国際大学短期大学部
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY / JUNIOR COLLEGE

学長 大森昭生

自大学・自己紹介



共愛学園の歩み

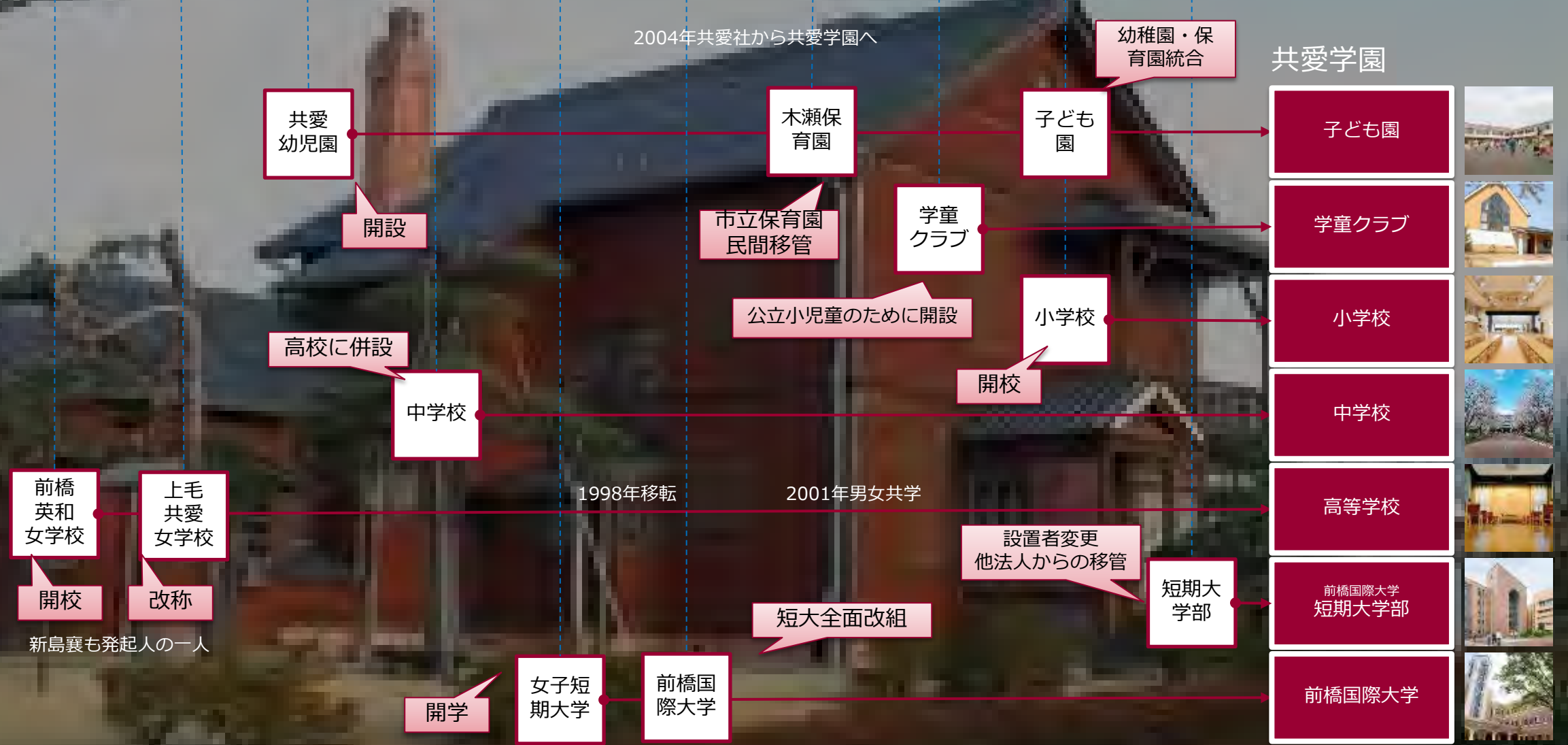
明治21年

100周年事業

110周年事業

130周年事業

1888 1889 1939 1947 1988 1999 2009 2011 2016 2021



理 念 共愛＝共生の精神

定 員 入学定員350名（国際社会250名＋デジタル共創100名）

国際社会学部

GLOCALリーダーへ ～国際的な視野を持ち、地域の諸課題に対処できる人材～

国際社会
学科

国際社会
専攻

英語コミュニケーションコース English Communication Course

国際コース International Course

経営コース Business Management Course

NEW

心理・人間文化コース Psychology, Humanity and Culture Course

NEW

地域児童
教育専攻

学校教育コース School Education Course

幼児教育・保育コース Early Childhood Education and Care Course

デジタル共創学部

デジタル共創人材へ～デジタル技術を活用し、他者と共にWell-Beingな社会を創造できる人材～

NEW

デジタル
共創学科

DX
モジュール



ICT
モジュール

マネジメント
モジュール

食・健康・暮らし
モジュール

共愛学園前橋国際大学への注目

5位

学長が教育面で注目する大学(過去9年連続Top10)

1位	金沢工業大
2位	国際教養大
3位	立命館アジア太平洋大
4位	国際基督教大
5位	共愛学園前橋国際大
6位	東北大
7位	芝浦工業大
8位	立命館大
9位	筑波大
10位	東京科学大

11位

学長が総合的に注目する大学

1位	東北大
2位	東京大
3位	京都大
4位	東京科学大
5位	金沢工業大
6位	国際教養大
7位	大阪大
8位	立命館大
9位	立命館アジア太平洋大
10位	国際基督教大
11位	共愛学園前橋国際大

1位

学長が注目する学長(5年連続)

1位	共愛学園前橋国際大
2位	早稲田大
3位	東京科学大
4位	東京大
5位	慶應義塾大
6位	筑波大
7位	東北大
8位	国際教養大
9位	津田塾大
10位	広島大

『大学ランキング2027』
(朝日新聞出版)

5位

2022年 進路指導教諭が評価する
教育力が高い 関東・甲信越地区
(東京除く)の大学

(大学通信)

1位	筑波大
2位	新潟大
3位	神田外語大
4位	宇都宮大
5位	共愛学園前橋国際大・横浜国立大



首相の前橋視察に同席し、教育とまちづくりについて議論



TBS 日曜日の初耳学



日経ビジネス編集長インタビュー



リバネス 人材応援

東洋経済



読売・朝日・日経 全面



NHK おはよう日本
(2024年11月20日)



NHK 時論公論
(2025年5月22日)



TBS Nスタ
(2026年1月4日)

大森昭生

共愛学園前橋国際大学学長／同 短期大学部学長

専門はアメリカ文学・男女共同参画論

群馬県総合表彰(男女共同参画分野)

全国の学長が注目する学長ランキング5年連続1位(大学ランキング)

主な公務歴(現任含む)

国では、大学・教育の在り方に関する政策決定過程に参画

- 中央教育審議会
教育振興基本計画部会
大学分科会
大学分科会高等教育のあり方に関する特別部会副会長
- 文部科学省
2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議委員
地域大学の振興に関する有識者会議座長

□その他多数

県では、より良い社会づくりの参画

- 群馬県青少年健全育成審議会会長
- 群馬県教育振興基本計画策定懇談会座長
- 群馬県男女共同参画推進委員会会長
- ぐんま子ども・若者未来県民会議
- 群馬経済同友会幹事・次世代育成委員会副委員長
その他

市では、まちづくりの参画

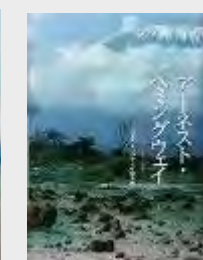
- 県都まえばし地方創生本部有識者会議座長
- 前橋デジタル田園都市国家構想アーキテクト総括
- めぶくプラットフォーム前橋副会長・運営委員長
- 前橋市社会教育委員
- 前橋市アーバンデザイン策定懇談会座長
- 前橋デザインコミッション理事
- 前橋まちづくり公社理事
その他

高校では新しい学びを探究

- 群馬県立前橋高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立桐生高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立中央中等教育学校SGH運営指導委員
- 太田市立高校グローバル推進実行委員会副会長
- 福井県立三国高等学校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員
その他

プライベートは

- 中・高校生・大学生の親／育児休業2回取得
- 黄色い旗を振って12年
- 前橋市立駒形小学校学校評議員
- 前橋市駒形小・木瀬中PTA役員(10年)



群馬県教育ビジョン

Agencyを柱に



第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン
計画期間：2024年4月～2029年3月



最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが豊なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

相談していいし、
助けを求めてもいいんだよ

「ナナメの関係」や
「ゆるいつながり」も
大事なんだよ

リアルでも、
デジタルでも
色々つながり方
でいいよ

社会をつくるのも変えていくのも
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

動き出してる
仲間もいるよ

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰も、生まれついて 自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が衰いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？



2024年3月 群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの
策定に向けた想い

【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう——それが、この「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしていくのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん——時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体（メンバーの一人）なのです。

ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか？「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんなふうに感じてはいませんか？

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めてるから、自分ではどうしようもない——そう思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人で今すぐに社会を変えることは難しいかもしれませんが、それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰も、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。



この計画の内容を考えるときに、高校生と大学生が参加するワークショップを行いました。そこでは、「後輩に引き継ぎたい理想の学校はどんな学校か」、「学校に留まらない、これからの未来に向かう学びは、どのようなものになるとよいか」について意見を出し合いました。「生徒が主体的に動ける学校になるとよい」、「自分に合わせて意欲的に学べて、先生がサポートしてくれる環境が多くあるとよい」、「横（学校や各自のコミュニティ）や縦（年代）の広がりのある学びになっていくとよい」といった意見が多く出ました。

こうした「自分とみんなのために動きたい」、「そのために自分の意志で学びたい」という気持ちを伸ばしていくのか、それとも抑えてしまうのか、それは、皆さん自身の考え次第です。また、周りの大人の関わり方や環境によっても変わるでしょうし、そこには教育の在り方も大きく影響すると考えています。

群馬県教育ビジョンでは、児童生徒の皆さんを「一方的に教えられ、守られるだけの子ども」とは考えません。皆さんそれぞれの年齢や状況に応じて、自分の頭で考え、判断し、行動できるようにするための力を身に付けてほしいと考えています。

群馬県を教育をより良いものにしていくために、更には、この社会をより良いものにしていくために、児童生徒の皆さんと私たち大人とが、共に力を合わせていけたら素晴らしいことだと思います。

群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから



皆さんの人生をどのようなものにしていくのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。

私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、よりよい自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の**主人公**であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。



でもしか先生 大森 昭生

教員人生の師と慕う人がある。小学5、6年生の時の担任だった海老塚忠先生だ。当時では珍しい自主性を重んじる学級運営だった。例えば学級委員の選出。立候補が求められた。5年生の私たちは物怖じして手を挙げる者がおらず、丸2日かかったが、先生は待ってくれた。

先生は時間割を決めさせてくれた。でも、給食当番や掃除当番は決めず、毎日誰かが自主的に担った。だから全員がクラスのことを自分事と捉えるようになった。6年生の最後は全員が学級委員に立候補して手を挙げた。

学生の頃、勉強会で再会した。先生に憧れて教師を目指したと伝えると、「君が子どもに影響を与える先生になろうと思っているのならやめた方がいい。子どもは自ら育つんだ」と諭された。

共愛学園前橋国際大学の学長に就任後、初めて2人でお酒を飲みに行った。「今の自分があるのは先生のおかげです」というと、「俺なんて『でもしか先生』だからな」と謙遜したが、教師にしかたれなかったというよりも、あんな教育は先生にしかできないと思う。

あの2年間があったからこそ、自信を持って今の学風を貫ける。学生を信じ、主体性を伸ばすという大学づくりの根幹には、先生の教えがある。（おおもり・あきお―共愛学園前橋国際大学学長）

第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン
計画期間：2024年4月～2029年3月



最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—



— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰しも、生まれついて自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力を持っている。

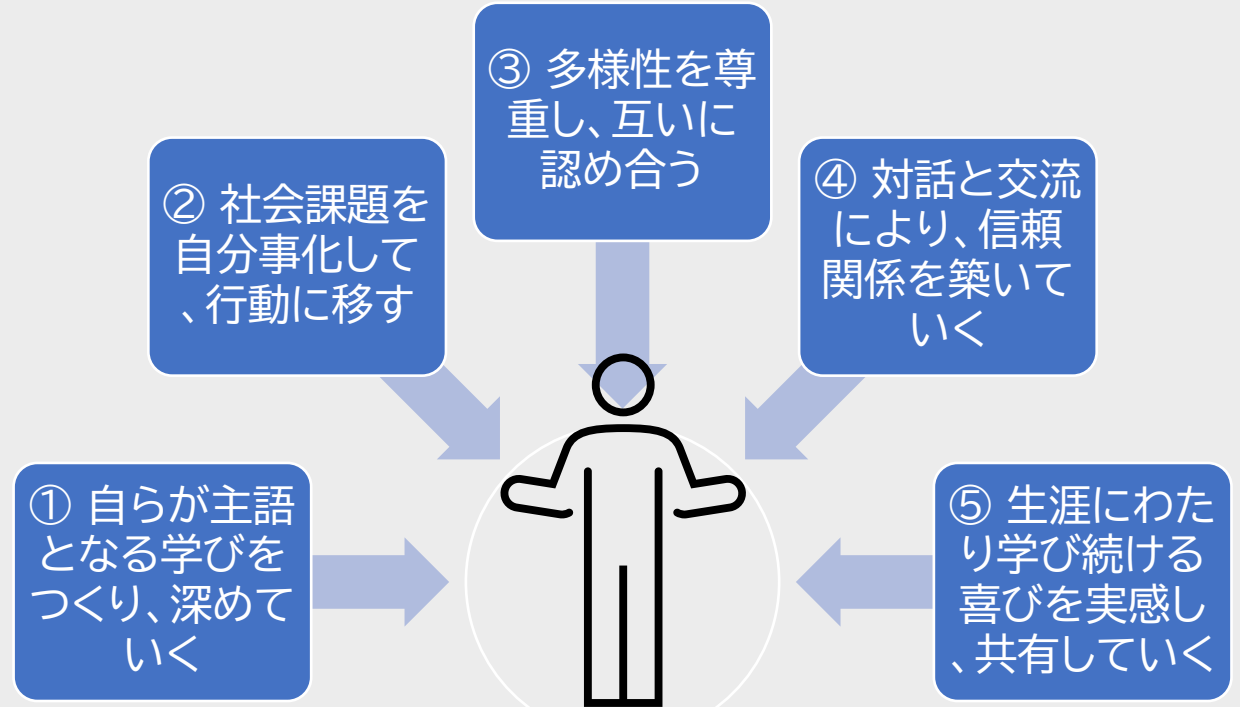
- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が衰いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えずぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—



エージェンシーを発揮し自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」

第4期 群馬県教育振興基本計画 群馬県教育ビジョン 計画期間：2024年4月～2029年3月



最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが豊なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

相談していいし、
助けを求めても
いいんだよ

「ナナメの関係」や
「ゆるいつながり」も
大事なんだよ

リアルでも、
デジタルでも
色々つながり方
でいいよ

社会をつくるのも変えていくのも
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

動き出してる
仲間もいるよ

「学ぶ」って
楽しい

知らないことを
知るの楽しいよ

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

**人は、誰も、生まれついて 自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。**

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が衰いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えずぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

2024年3月 群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの 策定に向けた想い

【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう——それが、この「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしていくのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん——時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体（メンバーの一人）なのです。

ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか？「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんなふうに感じてはいませんか？

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めていくから、自分ではどうしようもない——そう思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人で今すぐに社会を変えることは難しいかもしれませんが、それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰も、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。



この計画の内容を考えるときに、高校生と大学生が参加するワークショップを行いました。そこでは、「後輩に引き継ぎたい理想の学校はどんな学校か」、「学校に留まらない、これからの未来に向かう学びは、どのようなものになるとよいか」について意見を出し合いました。「生徒が主体的に動ける学校になるとよい」、「自分に合わせて意欲的に学べて、先生がサポートしてくれる環境が多くあるとよい」、「横（学校や各自のコミュニティ）や縦（年代）の広がりのある学びになっていくとよい」といった意見が多く出しました。

こうした「自分とみんなのために動きたい」、「そのために自分の意志で学びたい」という気持ちを伸ばしていくのか、それとも抑えてしまうのか、それは、皆さん自身の考え次第です。また、周りの大人の関わり方や環境によっても変わるでしょうし、そこには教育の在り方も大きく影響すると考えています。

群馬県教育ビジョンでは、児童生徒の皆さんを「一方的に教えられ、守られるだけの子ども」とは考えません。皆さんそれぞれの年齢や状況に応じて、自分の頭で考え、判断し、行動できるようにするための力を身に付けてほしいと願っています。

群馬県を教育をより良いものにしていくために、更には、この社会をより良いものにしていくために、児童生徒の皆さんと私たち大人とが、共に力を合わせていけたら素晴らしいことだと思います。

群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから



児童生徒の皆さん——時に、「こども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体(メンバーの一人)なのです。

ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか？「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんな風に感じていませんか？

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めているから、自分ではどうしようもない——そのように思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人きりで今すぐに社会を変えることは難しいかもしれません。それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

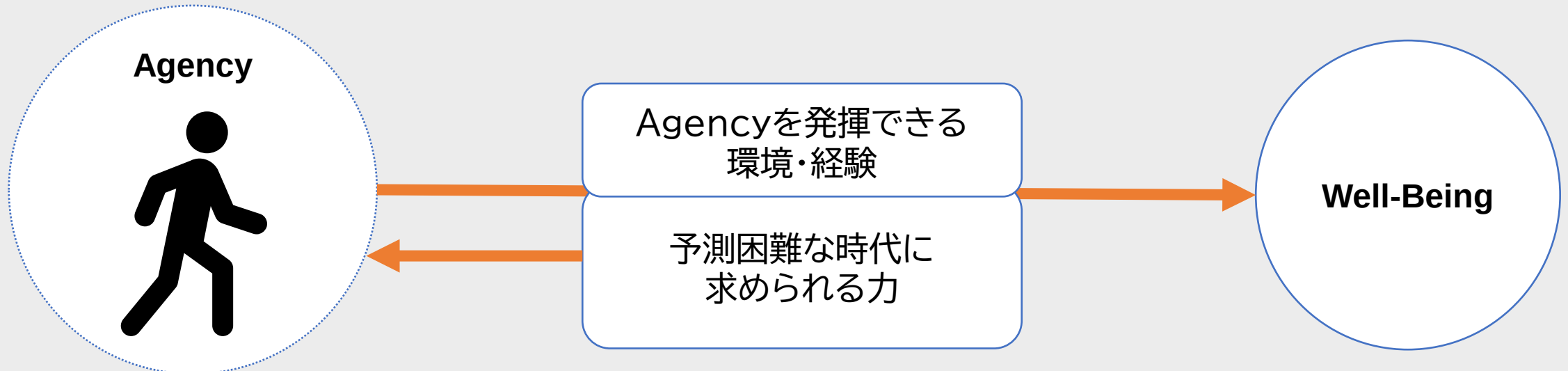
人は、誰も、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。

Agency



ひとは
自分の人生や周りの世界をよくする意志と力
をはじめて持っている





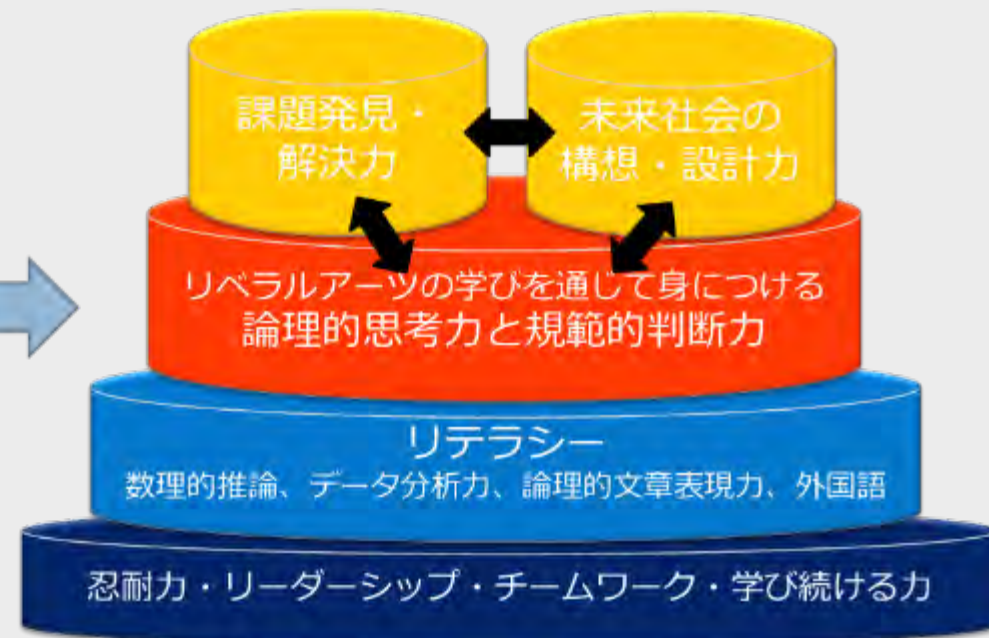
学力の3要素

基盤となる**知識・技能**

その知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な
思考力・判断力・表現力

これからの時代に社会で生きていくために必要な、**主体性をもって多様な人々と協働して学び続ける態度**

経団連 & 大学が言う求められる力



予測困難な時代





ping. You're good to go (really)!

DOOR TO REMAIN UNLOCKED WHEN BUILDING IS OCCUPIED

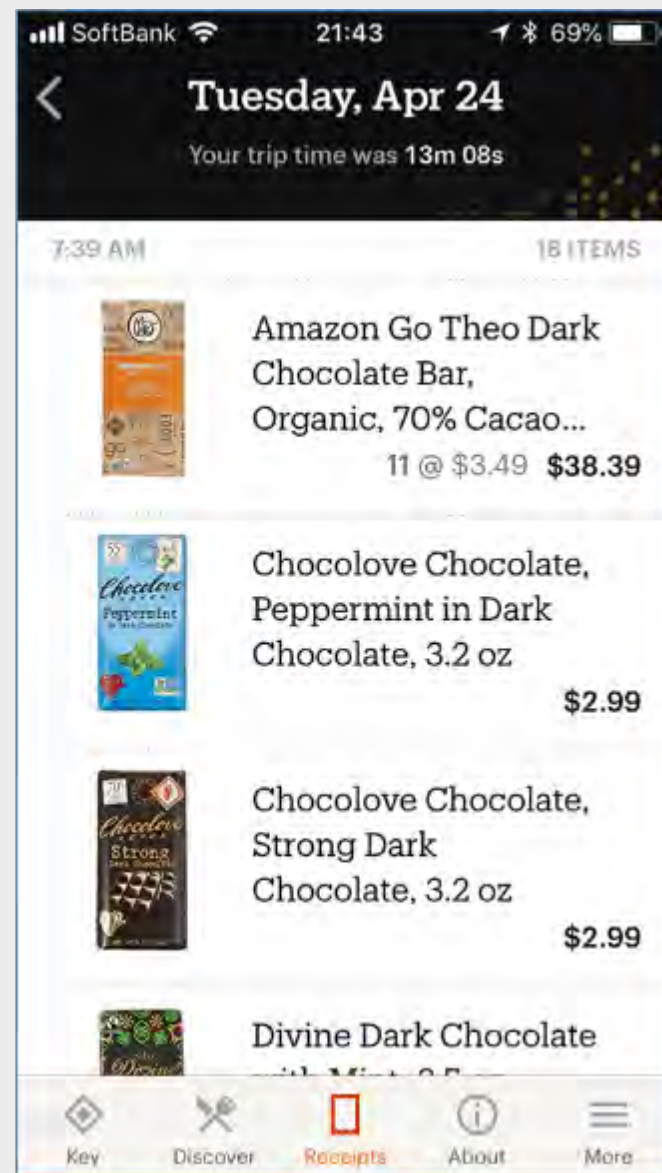
amazon go

GOOD
FOOD
FAST
BREAKFAST

EXIT

GOOD
FOOD
FAST

CANDY



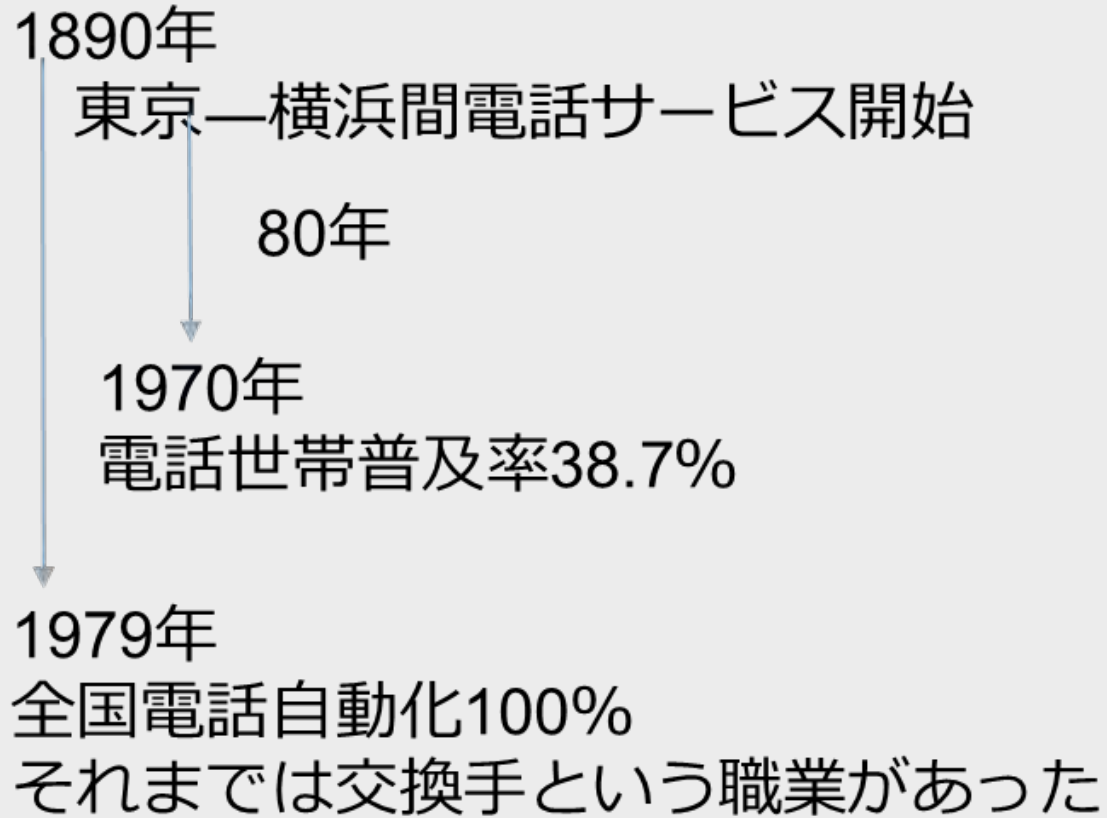


流通ニュース

<https://www.ryutsuu.biz/report/o102042.html>

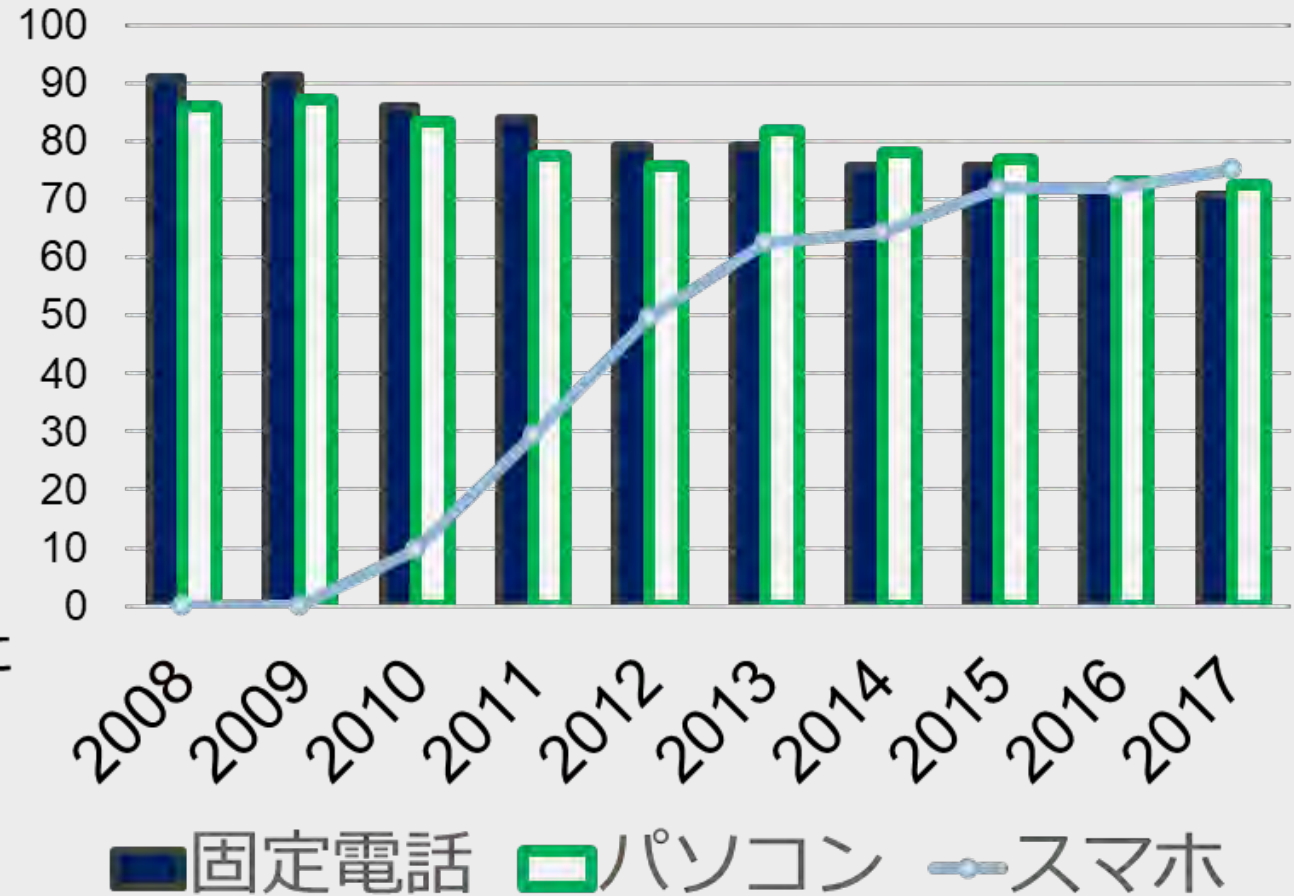


技術革新と普及のスピード



昭和50年通信白書、等

情報通信機器世帯保有率推移

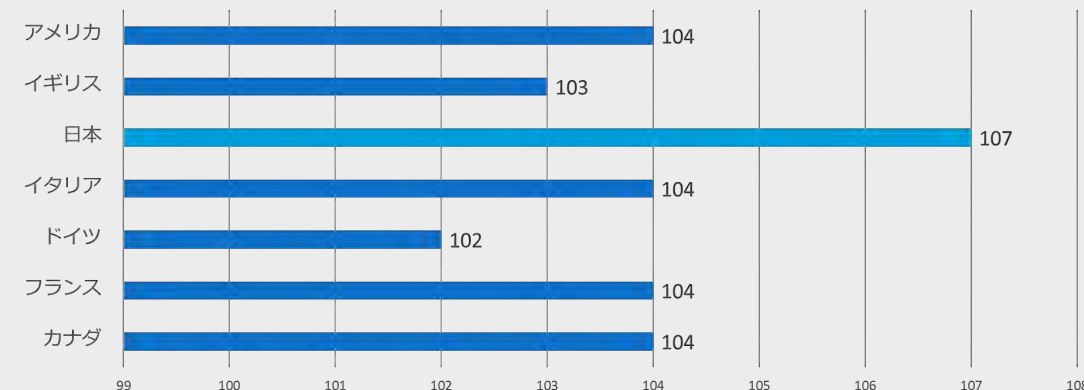




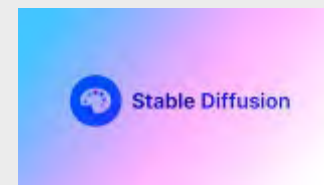
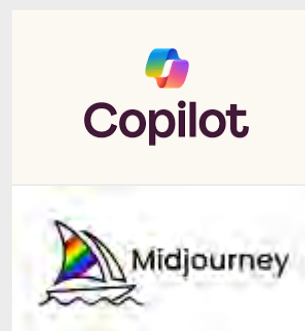
Society5.0

予測困難な時代

2007年生まれの子どもの50%が到達すると期待される年齢



人生100年時代



New Normal with Corona

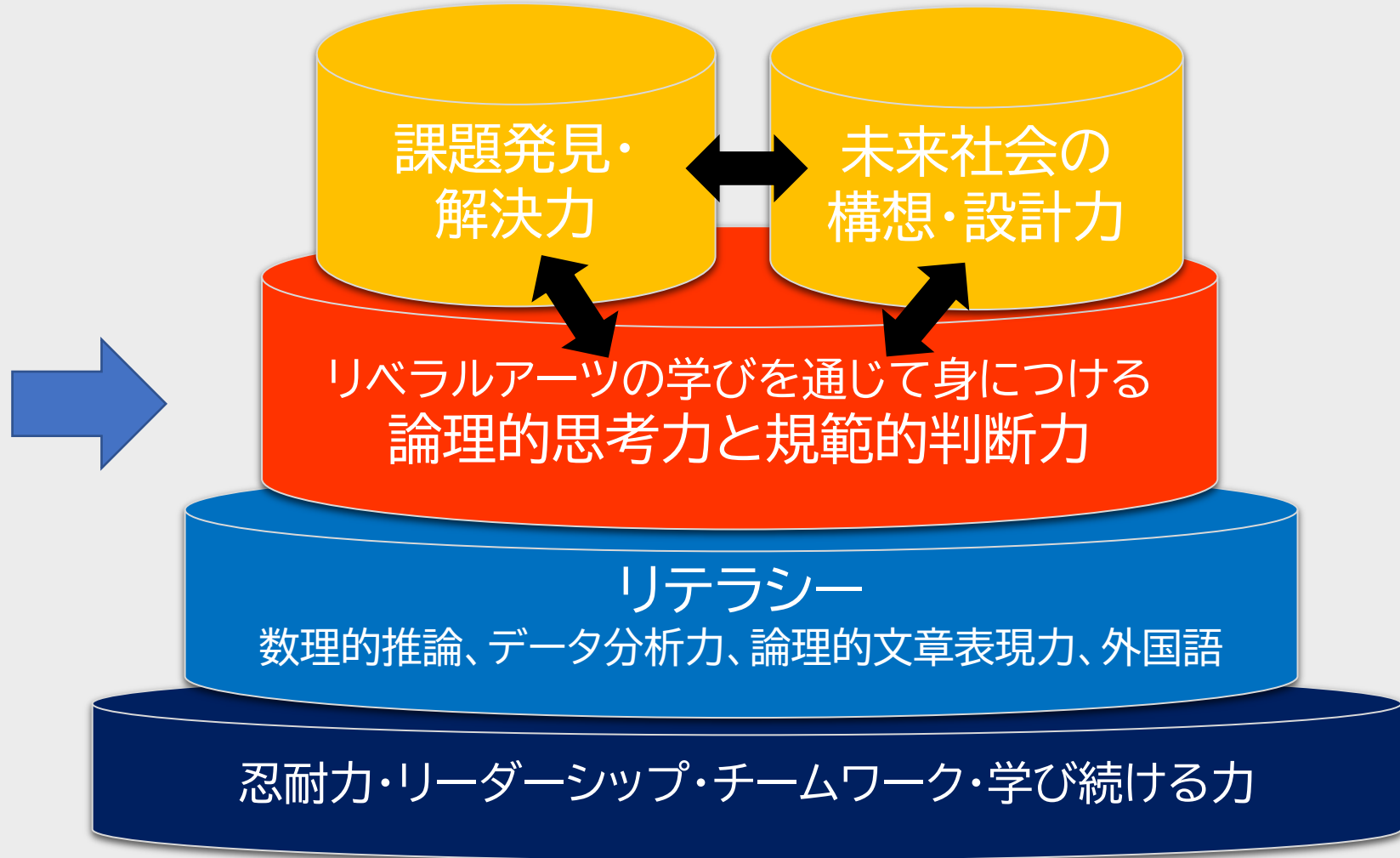


超少子高齢化社会

Society5.0時代に求められる力

採用と大学教育の未来に関する産学協議会中間報告
(2019年6月25日シンポジウム資料より)

経団連＆大学が言う求められる力



予測困難な時代に求められる力 中央教育審議会

答えのない問題に解を見出していくための**批判的、合理的な思考力**等の能力

チームワークやリーダーシップを発揮して社会的責任を担う、倫理的、社会的能力

総合的かつ持続的な学修経験に基づく**創造力と構想力**

想定外の困難に際して的確な判断ができるための基盤となる**教養、知識、経験**

学力の3要素

基盤となる**知識・技能**

知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な
思考力・判断力・表現力

これからの時代に社会で生きていくために必要な、**主体性をもって多様な人々と協働して**
学び続ける態度

では、 どんな学びが行われているのか

県内高校や
共愛学園前橋国際大学を事例に



県内全大学が参画

- テーマ設定時に学生たちが相談にのる
- 申請書の段階でアドバイザー大学教員リストとマッチングし指導を受けられる

群馬教育DXコンソーシアム(運営協議会)
も

世界を知ることで、群馬の力になれる気がした

群馬県 Be-GMA

群馬県の高校生を対象にした、留学費用の一部を支援する制度

群馬県の発展に貢献する人材のイメージ

自分で未来を考え
新しい領域で動き出し
生き抜く力の醸成

探究 × 留学

群馬県を「より良くしたい」課題の発見

課題解決に向けて「自分で動き出す」チャレンジ精神

奨学金等

返済不要
最大40万円
程度

選航先や留学期間に応じて
奨学金等は変動します

GUNMA
グローバル
人材育成事業

選考基準

成績・語学力
不問

留学に対する意欲や熱意などを
専門選考委員が評価します

企業・個人からの御寄附により、世界での学びや探究を通じて得た知見を、群馬の地域社会に還元することを目的としたグローバル人材育成プログラムを開始します。留学生は、海外での経験を通じて身に付けた様々な力を、群馬県の課題解決や未来づくりにいかします。

生徒のエージェンシー(自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力)を重視し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育成することに加え、学校の活性化や県立高校の魅力向上を図ることを目的とし、SAH+事業を実施。



➡ 県内全高等学校



➡ 前橋南高等学校
高崎女子高等学校
伊勢崎高等学校
新田暁高等学校
渋川女子高等学校
富岡高等学校
玉村高等学校

SAH+では、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」に向け、次の実践を行う。

- 授業改善に関すること
- 特別活動(学校行事・生徒会活動等)に関すること
- 探究的な学びに関すること
- その他学校における取組に関すること

例えば...

- 制服や校則をどうするか
- 学校行事をどうするか
- キャンパス環境をどうするか

など、
生徒たち自身が、学校をよくする取り組みを展開

県立高崎女子高等学校



TAKASAKI GIRLS' HIGH SCHOOL

1 A (Agency) タイム

内容
 生徒が自由に使える時間（Aタイム）を、年間15時間ほど設定する。（R 7:8時間）

目的
 生徒に時間を返し、自ら学習を組み立てる意識を高める。

丸橋(前)校長講演資料より

最後に、生徒への意気をはかる語のチカラシ、夢田保監督も夢田に作成・指導をし、**映画『フジヤン』**を製作することになりました。

県立伊勢崎高等学校



伊高でしかできない学校行事

AGENCY DAY エージェンシーデー

伊勢崎高校では、生徒自らが日々を振り返り、自身の目標を立て、目標を達成するための行動を計画し、実行する1日として、終日「家庭学習日」となる「AGENCY DAY」を実施しています。探究活動だけでなく「AGENCY DAY」などの活動を通じ、「自分で考え、自分で決め、自分で動き出す」人材の育成を目指しています。

令和6年度 生徒の実施例



日頃行けない、弟の授業参観に参加した



電車だけを使って一日で行ける
ところ（熱海）まで行ってみた



中国史に興味を持ったので
『キングダム』を20巻読んだ

自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す

「シン・探究人」を育成する伊勢崎高校の探究活動 iTanQ

アイ ランキョウ

伊勢崎高校の探究活動「ITanQ」では、これまでの常識にとらわれず、まだ誰も立てたことのない問いを自ら見つけ出します。

そして、自分で考え、自分で決め、自分で動き出す。他者と対話し、模範しながら、試行錯誤を重ね、挑戦を続ける。五感を研ぎ澄ませて社会を感じ、教室を越え、地域を越えて、世界へと踏み出す。

伊勢崎高校は、PBL（Project Based Learning: 課題解決型学習）を念頭に置いた各教科固有の学びと、PBLを支える基礎的な知識・技能の習得を目指す教科横断的な学び、学校教育を通して行われる特別活動・道徳活動・キャリア教育・生徒指導（自己決定能力育成）を通じて、「シン・探究人」を育成します。

iTanQの全体像



総合的な探究の時間 iTanQ (蒼穹)

- 高校1年 蒼穹I 身近な問いから、課題解決を通じて探究スキルを身に付ける
- 高校2年 蒼穹II 世界の問いから、地域課題の解決策を考え、何かアクションを起こす
- 高校3年 蒼穹III 社会課題を題材に「自分ごと」から、自らの行動に反映し、変革する

高橋校長講演資料より

県立三国高等学校



2019年度キャリア教育推進連携表彰「優秀賞」



太田市立 太田高等学校

高大連携コラボゼミ



2016年度学生が毎週高校に通い協働学習+コラボゼミ+県内私大シンポジウム

2017年度～課題研究の授業を大学が担当



2018

群馬イノベーションアワード。
約400組から
社会人、大学生、高校生計
15組のファイ
ナリストに。
4000名を前に
プレゼン。

前期: GUNMA INNOVATION AWARDへのエントリーをめざして、ビジネスプラン作成。
後期: 大学生と一緒に、ライフデザインを柱に社会課題を研究するゼミを行い、テーマに基づいてレポート(論文)を作成。

■次のような力を養います。

チームで協働する力・タイムマネジメント力(自律する力)／深く考えたり、判断したりする力・表現する力／主体的に取り組む力・キャリアを考える力 など

■ビジネスに関する知識を深め、社会課題に関する識見を拡げます。

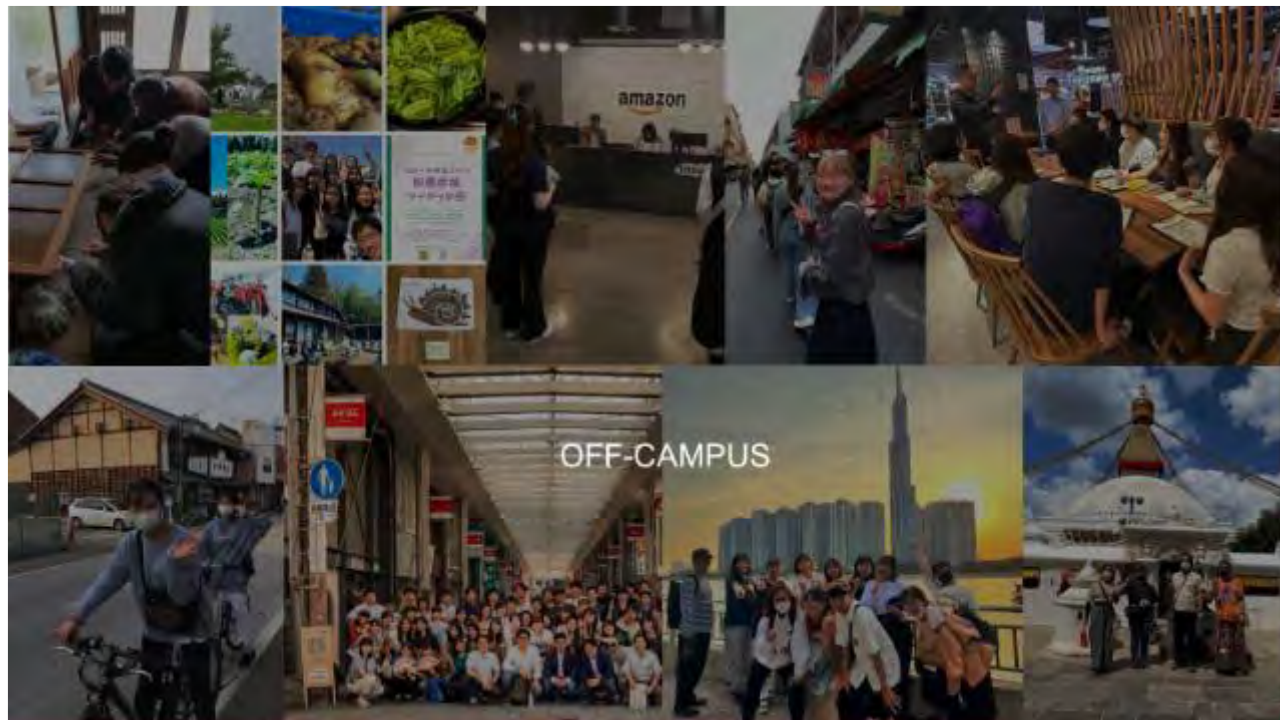
■大学での学びを経験することで、大学入学後の学びの準備をします。



2019



学生による、高校生の
レポート課題の添削。





長期インターンシップ

4か月間、大学に通う代わりに
市役所や企業、NPOへ
インターンに



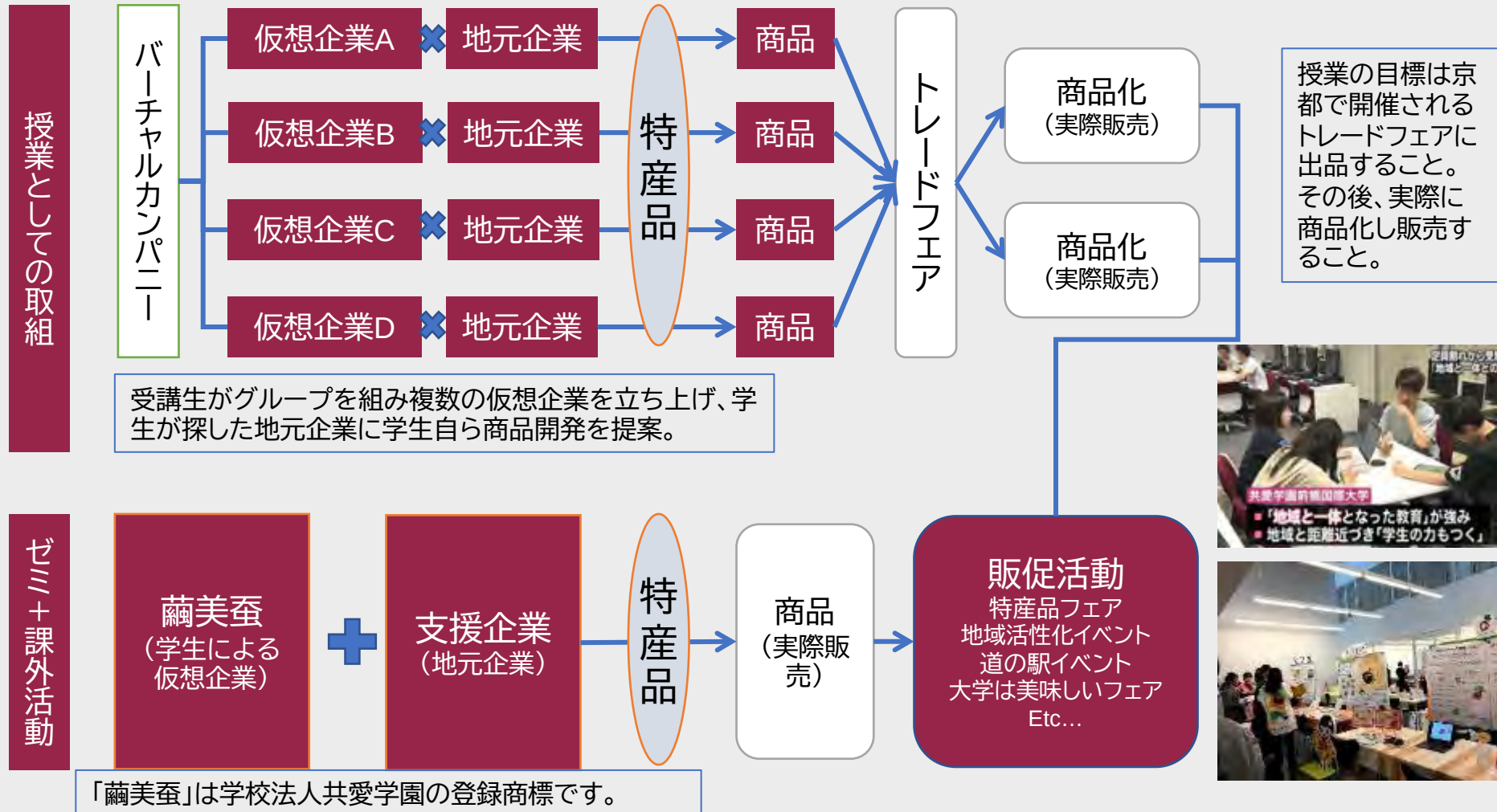
半年間大学に行かなくていい



学生による地元特産＋地元企業との商品開発

■「バーチャルカンパニー」(1・2年生対象)という授業の中で特産品を活用した商品開発を行うプロセスと、仮想企業「繭美蚕(まゆみさん)」という学生団体(中心となるゼミ＋有志)が行うプロセスとがある。

■「繭美蚕」では、授業で商品開発を経験し、3・4年生になっても活動を継続したい学生が所属し、授業で商品化された商品の販売の継続や独自の商品開発を行う。



地域の孫になる→2025年度から学生プロジェクトへ発展



共愛学園前橋国際大×SILK



共愛学園前橋国際大学×slowcity



前橋市長特使として気仙沼に訪問も



- <https://kyoaislowcity.jp/>
- <https://www.instagram.com/p/CY4Q4pxJ3y7/>
- <https://www.akagi-trip.com/news/kokosukimap2020/>



GLOBALも地学一体を意識して

様々な留学研修プログラム

西北大学交換留学

上海研修

カナダ研修

オーストラリア研修

アメリカ中・短期留学

ニュージーランド留学

アイルランド研修

カナダ短期研修

韓国研修

イギリス研修

海外研修サートインター
(アメリカ)

アジア異文化研修
(タイ・台湾)

ミッションリポート研修
(タイ)

東欧文化研修
(ブルガリア・ルーマニア)

海外ティーチング研修
(オーストラリア)

海外フィールドワーク
(韓国・フィリピン・台湾)

22 GLOBAL UNIVERSITIES



ミズーリ州立大学(USA)
リンフィールド大学(USA)



ブリティッシュコロンビア大学(CAN)
ランガラ大学(CAN)



ヴェリコ・タルノヴォ大学(BGR)



デイトリエ・カンテミル
基督教大学(ROU)



リムリック大学(IRL)



南オーストラリア教育庁(AUS)
ボンド大学(AUS)
マッコーリー大学(AUS)



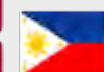
ワイカト大学(NZL)



西北大学(CHN)
西安外国語大学(CHN)
上海大学(CHN)
上海交通大学(CHN)



醒吾科技大学(TWN)
東呉大学(TWN)
長栄大学(TWN)



サンカルロス大学(PHI)



タマサート大学(THA)



バリア・ブンタウ大学(VNM)

地元企業との海外課題解決型インターンシップ(ミッショングローバル研修)

アウェイの地で地元企業から出されるビジネスミッションを遂行



マーケットで調査
時間がない！



調査と同時に群馬県のプロ
モーション(タイ語県パン
フレット配布)



ショートミッションの報告



メインミッションのプレゼン

研修イメージ

Day1	Final Mission (チーム)			
Day2	1 st Mission (個人orペア)	9:00	---	15:00
Day3	2 nd Mission "	9:00	---	15:00
Day4	3 rd Mission (チーム)	9:00	---	15:00
Day5	4 th Mission "	9:00	---	15:00
Day6	5 th Mission "	9:00	---	15:00
Day7	最終プレゼン			



事後研修 サンデン本社(日本)
でのプレゼン タイへも配信

2019年度は下記の地元企業と展開

- ・ヨコオデイリーフーズ
- ・コシダカホールディングス
- ・JTBタイランド/群馬支店

Glocal Seminar

- 2年生必修 通年
- コース混合30名クラス編成
- 3名の教員がTeam Teaching(教員もコース混合)
＜英語コミュ・国際・情報経営・心理人間文化・児童教育＞
- Data Driven な地域課題解決演習



S-D Challenge (Self-Design Challenge)

教室での授業ではなく、体験的な学びを自分でデザインし、その学びを通して、自分の在り方を考え、キャリア＝人生をデザインする力を身につける。

2023
共愛短大は
NEXT STAGEへ

例えば…

海外型
Challenge

企画型
Challenge

解決型
Challenge

貢献型
Challenge

取材型
Challenge

インターン型
Challenge

資格獲得型
Challenge

学修深化型
Challenge

編入準備
Challenge

Quarter System (4学期制)

1年次						2年次					
4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
I 1 st term	II 2 nd term	夏 休 み	III 3 rd term	SD Challenge term	春 休 み	IV 4 th term	V 5 th term	夏 休 み	VI 6 th term	VII 7 th term	春 休 み

Self-Design Challenge

キャンパスを離れて
自分の将来を描く

児童文化センターでインターン



ケーキ&ベーグルのお店で
インタビュー調査



シンガポールの保育
や食文化を調査



予測困難な時代に
幸せな生涯を生きてほしい

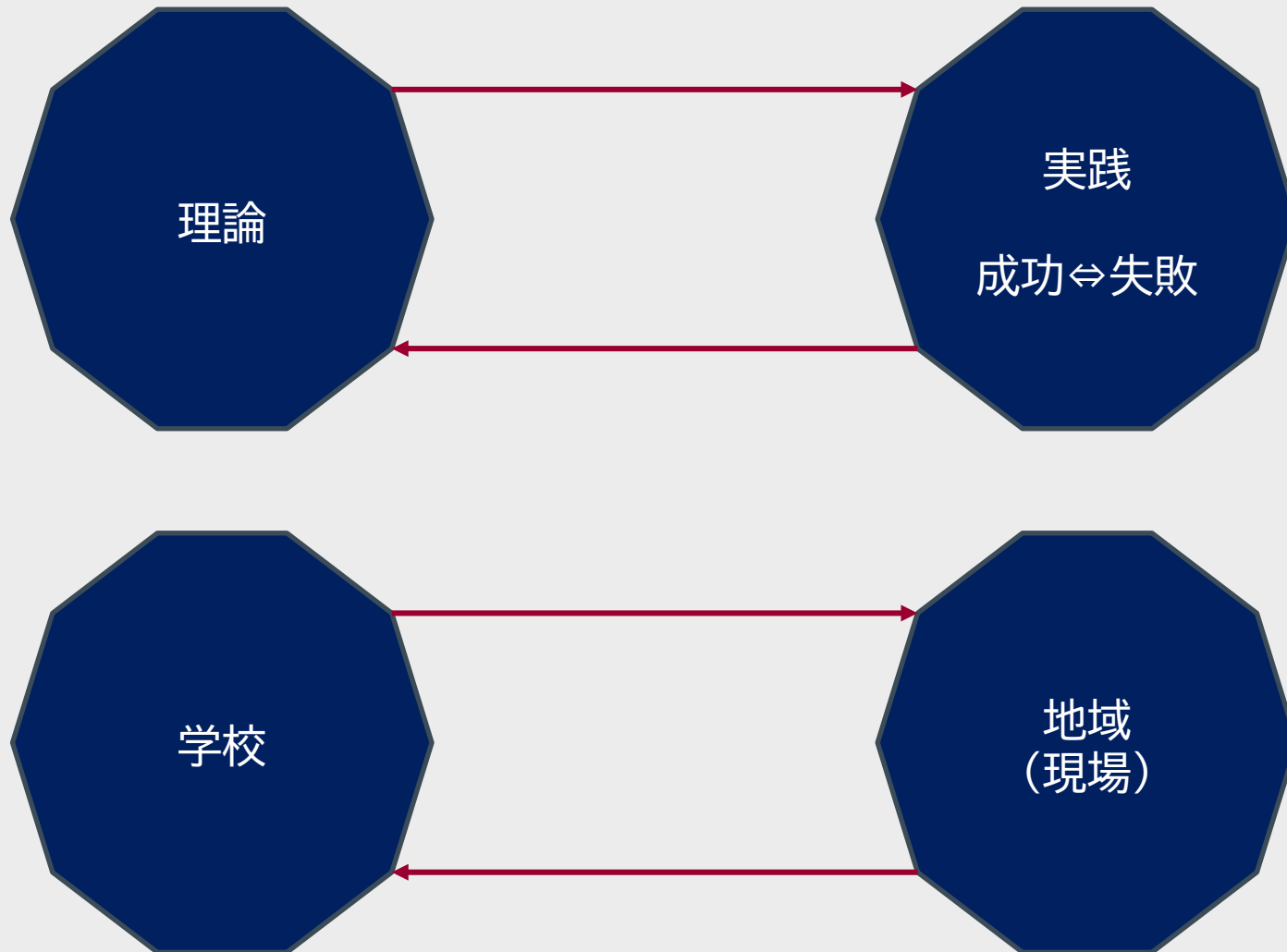


学校にはできないことがある

Community Based Learning
のススメ



いま 求められる学び



学校には現場も実践もない

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の 連携・協働の在り方と今後の推進方策について

(中教審答申 H27.12.21)

<教育改革、地方創生等の動向から見る学校と地域の連携・協働の必要性>

- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域の教育力の低下や、家庭教育の充実の必要性が指摘。また、学校が抱える課題は複雑化・困難化。
- 「社会に開かれた教育課程」を柱とする学習指導要領の改訂や、チームとしての学校、教員の資質能力の向上等、昨今の学校教育を巡る改革の方向性や地方創生の動向において、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されている。
- これからの厳しい時代を生き抜く力の育成、地域から信頼される学校づくり、社会的な教育基盤の構築等の観点から、学校と地域はパートナーとして相互に連携・協働していく必要があり、そのことを通じ、社会総掛かりでの教育の実現を図る必要。

<これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿>

地域とともにある学校への 転換

- ・開かれた学校から一步踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」に転換。

子供も大人も学び合い 育ち合う教育体制の構築

- ・地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」を一体的・総合的な体制として構築。

学校を核とした地域づくり の推進

- ・学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」を推進。

地域と学校の連携・協働の魅力

子どもにとっての 魅力

- 学び舎体験活動の充実
- 自己肯定感や他人を思いやる心の涵養
- 地域の担い手としての自覚の高まり
- 安心・安全な生活

教職員にとっての 魅力

- 地域の人々の理解と協力
- 地域人材の活用
- 地域の協力による子どもと向き合う時間の確保

保護者にとっての 魅力

- 学校や地域に対する理解
- 地域の中で子育てできる安心感
- 保護者同士や地域の人々との人間関係構築

地域にとっての 魅力

- 生きがいや自己有用感
- 学校が地域のよりどころになる
- 学校を中心とした地域ネットワークの形成
- 防犯・防災等の体制構築

地域と学校の連携・協働の意義

これまでも多くの連携があったことは素晴らしい！

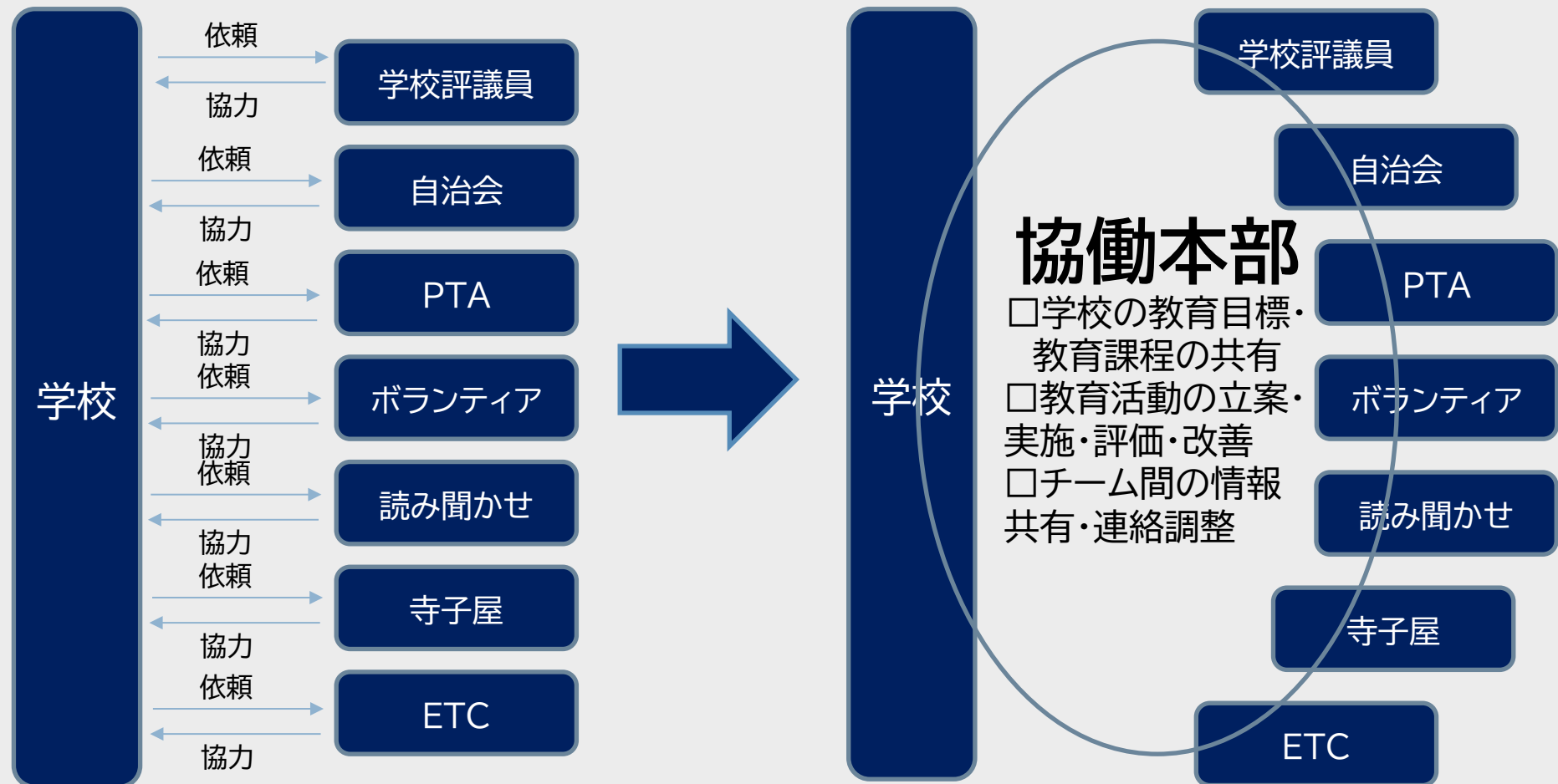
でも…都度都度個々の取組…

でも…学校・地域協働の教育活動までは…

でも…教育目標・地域目標の共有は…

でも…地域の横のつながりは…

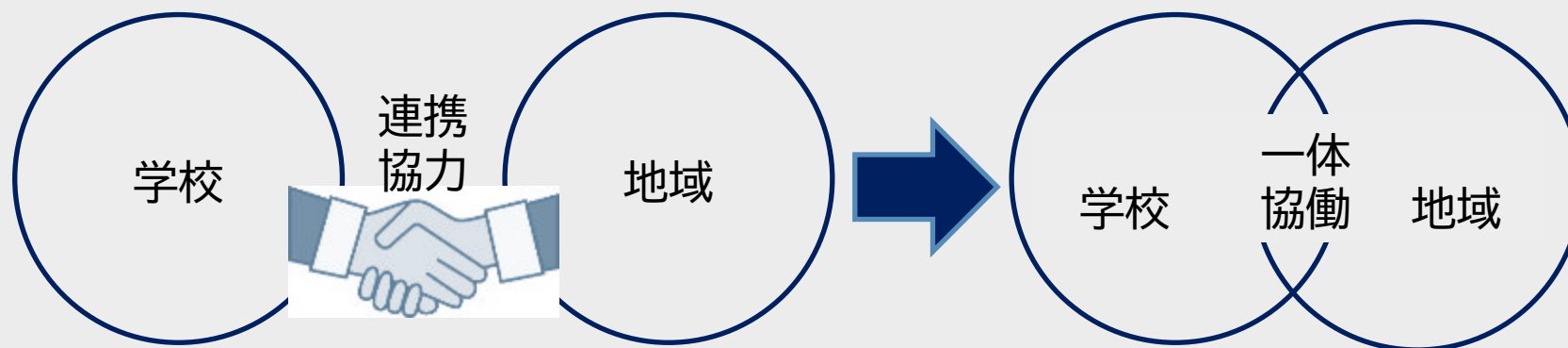
これからは地域学校協働本部で、
地域の様々な主体と学校とが
互いに協働し一体的に教育活動を創造していく



地域と学校の連携・協働で創る

- 新しい学校と地域の関係
- 学校を核とした地域のつながり
- 地域の未来を築く地域人材
- 予測困難な時代／人生100年時代に幸せに生きる子どもたち

連携→一体 / 協力→協働



PTAも教育活動を立案・実施し、 カリキュラムに参画



家庭・地域連携による職業理解・地域理解を促す 取材型キャリア学習プログラム

駒形小学校PTA×地域の企業様×駒形小学校

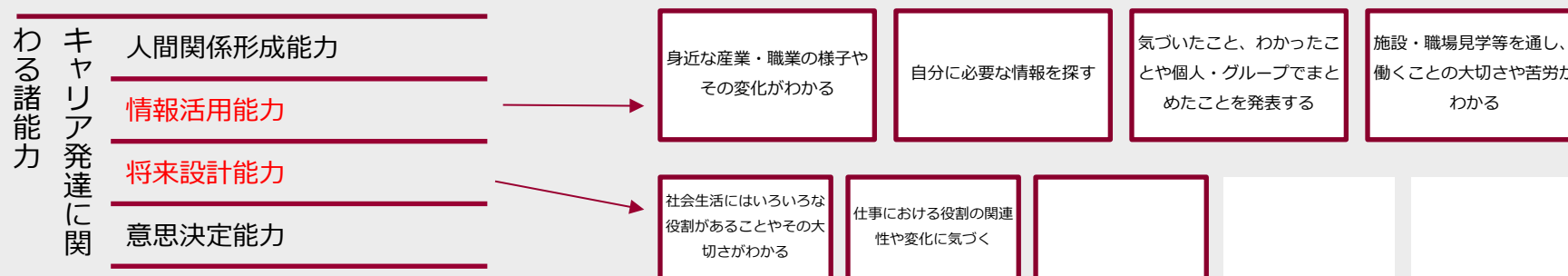


- | | |
|------------------|---------------------|
| A 日本郵便(株)前橋駒形郵便局 | G (株)シースリー・ブレーン |
| B しののめ信用金庫 | H マチダコーポレーション(株) |
| C (株) ソウワ・ディライト | I (株)町田酒造店 |
| D ダイケンテクノ(株) | (年度によって企業さんは異なります。) |
| E (株)ナカダイ | |
| F (株)フレッセイ | |

小学校における地域に開かれた教育
〜前橋市立駒形小学校の例〜

目的

①キャリア発達に関わる諸能力のうち「情報活用能力領域」と「将来設計能力領域」の一部を涵養



②次期学習指導要領の「社会に開かれたカリキュラム」の実践例

③「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(中教審答申 H27.12.21))」に掲げられた「地域学校協働活動」のパイロット事業

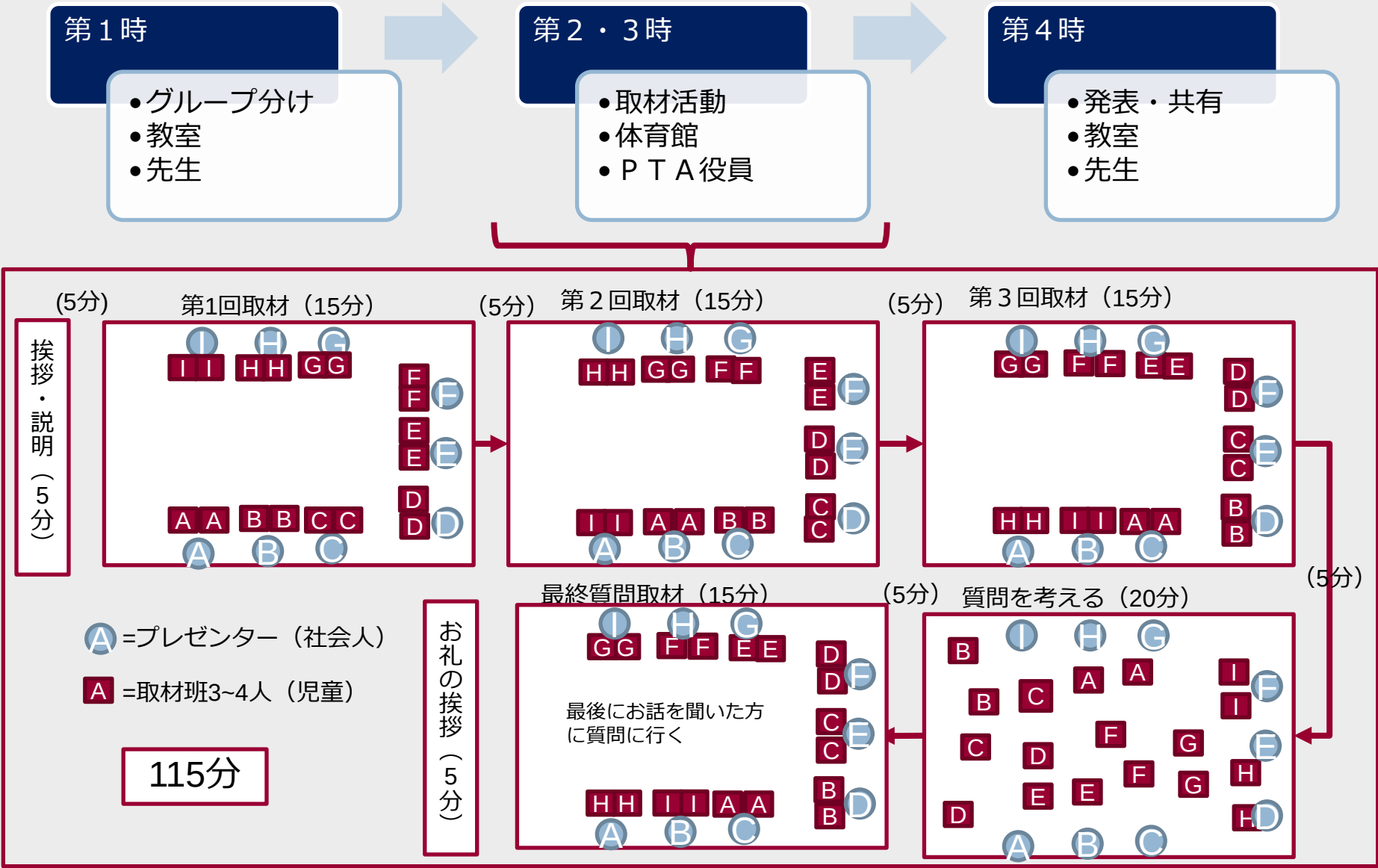
目標・めあて

- ①身近な地域に様々な会社等があり、身近な人たちが様々なお仕事をしていることを知る。
- ②どんなお仕事にも大切な役割があり、どんなお仕事も社会と関わっていたり、社会に貢献していることを知る。
- ③どんなお仕事にもやりがいがあり、お金のためはもちろんだけど、お仕事をやる意味はそれだけじゃないことを感じる。
※特別な仕事だけでなく、どんなお仕事にも役割、社会的意義、やりがいがあることを知ることを期待。
- ④取材班の仲間と協力して取材活動を行うことができる。
- ⑤お話を聞いて大事なことをメモすることができる。
- ⑥お話を聞いたうえで、不足している情報や疑問点を質問することができる。
- ⑦取材した情報を協力しながらまとめて、他の人にわかりやすく伝えることができる。

社会人の皆さんにお話いただくこと

- ①会社の紹介やご自身の仕事内容の紹介
- ②現在の職業へ就くまでのキャリアやなぜその仕事に就こうと思ったのかなど
- ③職場における自分の役割や社会におけるその仕事の役割や意味・どのように社会に貢献しているか
- ④働くことの意義ややりがい
※短時間なので、全ての項目に触れていただくとは限りません。

プログラムの流れイメージ



働くことの大切さとは？

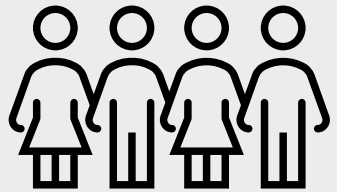
子どもたちが地域の会社取材 群馬・前橋市
群馬テレビ(23/01/31)



文部科学大臣表彰

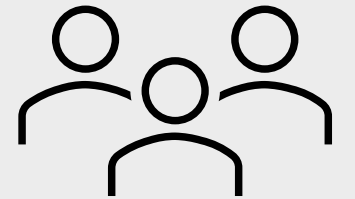


子どもたちにとって



社会に開かれた教育

PTAにとって



PBL型社会教育

取材型
キャリア教育
プログラム

Agencyを発揮

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。

◎ 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



国立青少年教育振興機構
「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」
(平成22年)

子どもの頃の「自然体験」「友だちとの遊び」「地域活動」等の体験が
豊富な人ほど、



「経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい」といった
「**意欲・関心**」が高い



「電車やバスでお年寄りや身体の不自由な人に席を譲ろうと思う」といった
「**規範意識**」が高い



「友だちに相談されることがよくある」といった
「**人間関係能力**」が高い

第4期 教育振興基本計画（国）

教師のウェルビーイング、 学校・地域・社会のウェルビーイング

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

子供たちのウェルビーイングを高めるためには教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。また、子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。



第4期 教育振興基本計画（国）

日本発・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

日本の社会・文化的背景を踏まえ、我が国においては、自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と、人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させていくことが求められます。

個人が獲得・達成する
能力や状態に基づく
ウェルビーイング
（獲得的要素）

- ・自己肯定感
- ・自己実現 など

人とのつながり・関係性に
基づくウェルビーイング
（協調的要素）

- ・利他性
- ・協働性
- ・社会貢献意識 など

両者を調和ある形で一体的に
向上させていくことが重要



ウェルビーイングの深化

- 今が楽しい
(個人・現在)
- これからの将来に希望を持てる
(個人・将来展望)
- クラスや地域の人々の幸せを願う
(社会・共生)
- この町・学校・世界を良くしていきたい
(利他性・公共・持続)

ウェルビーイングの
深化



6

次期教育振興基本計画 ポイント解説 ～ウェルビーイング編～



<https://youtu.be/AF2-S1EGGiE?si=UP6hcxeNPLIaD1Tq>

学校にはできないことがたくさんある



Community Based Learning

私たちは「自分の人生や周りの世界をよくする意志と力」を
すでに持っている

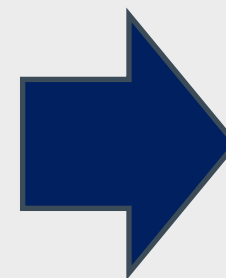


Agency を発揮する環境と学びを

地域は課題の宝庫



PBL型教育でAgencyを発揮してWell-beingな地域へ



コミュニティ・
スクールの
大いなる
可能性に期待

大森 昭生 共愛学園前橋国際大学・共愛学園前橋国際大学短期大学部 学長

1968年、宮城県仙台市生まれ。東北学院大学文学部英文学科、同大学院博士課程にて研究。1996年に学校法人共愛学園に入職、共愛学園前橋国際大学国際社会学部長、副学長等を経て、現職。専門はアメリカ文学で特にヘミングウェイを研究。文部科学省中央教育審議会の各種委員、内閣官房の各種委員等の他、群馬県青少年健全育成審議会会長、同教育振興基本計画策定懇談会座長等地域における各種公的委員を多数務め、各地での講演多数。 3児を育てており、二人目・三人目出産に際し育児休業を取得。群馬県総合表彰(男女共同参画分野)。群馬県社会教育功労者表彰。全国の学長が注目する学長ランキング5年連続1位(大学は教育で注目する大学5位)(大学ランキング2023／2024／2025/2026/2027)。

略歴

- 1996年 共愛学園女子短期大学専任講師
- 1999年 共愛学園前橋国際大学専任講師
- 2003年 共愛学園前橋国際大学国際社会学部長・同助教授
- 2004年 埼玉大学教育学部非常勤講師（～2011年）
- 2005年 群馬県立女子大学非常勤講師（～2014年）
- 2007年 共愛学園前橋国際大学教授
- 2013年 共愛学園前橋国際大学副学長
- 高崎経済大学非常勤講師（～2015年）
- 2016年 共愛学園前橋国際大学学長・学校法人共愛学園理事
- 2019年 学校法人東北学院評議員
- 2021年 共愛学園前橋国際大学短期大学部学長（兼務）
- 2025年 学校法人共愛学園 副理事長

著書等

- 『群馬県男女共同参画社会作りのための副読本～未来～／～なかま～』（共著）2002年
- 『男女共同参画時代における子育て支援者養成ガイド』（共著）2003年（日本女性学習財団）
- 『地域に愛される大学のすすめ』（インタビュー形式で参画）2011年（三省堂）
- 『アーネスト・ヘミングウェイー21世紀から読む作家の地平』（共編著・編集委員長）2011年（臨川書店）
- 『ヘミングウェイ大事典』（共編著・編集委員）2012年（勉誠出版）
- 『「深い学び」につながるアクティブラーニング』（河合塾編・共著）2013年（東信堂）
- 『「大人になることのレッスン」－「親になること」と「共生」』（共著）2013年（上毛新聞出版部）
- 『今選ぶなら、地方小規模私立大学！～偏差値による進路選択からの脱却～』（共著）2018年（レゾンクリエイト）
- 『ヒッピー世代の先覚者たち：対抗文化とアメリカの伝統』（共著）2019年（小鳥遊書房）
- 『ヘミングウェイ批評：三〇年の航跡』（共編著）2022年（小鳥遊書房）



公的委員等歴（終了したものを含む主な事項のみ掲載・下線太字は現任）

国・その他

- ☐日本成長戦略本部人材育成分科会
- ☐文部科学省 中央教育審議会
- 教育振興基本計画部会委員
- 大学分科会委員
- 大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会副会長
- 大学分科会質保証システム部会委員
- 教学マネジメント特別委員会委員
- 認証評価機関の認証に関する審査委員会座長
- ☐2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議委員
- ☐地域大学の振興に関する有識者会議座長
- ☐文部科学省「知識経済型社会に資する人材育成プログラム」委員
- ☐文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPRC～」委員
- ☐文部科学省「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増に関する審査会」委員
- ☐文部科学省「高等学校等教育改革促進基金等の推進等に係る有識者会議」委員
- ☐厚生労働省「地域における医療従事者の安定的な養成・確保に関する検討会」委員
- ☐内閣官房 「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」委員
- ☐内閣官房 「地方大学・産業創生法施行状況検討に係る有識者会議」委員
- ☐経団連 採用と大学教育の未来に関する産学協議会委員（地域活性化人材育成分科会）
- ☐私立大学協会私立大学基本問題研究委員会「教育研究充実部会」委員
- ☐日本高等教育評価機構 大学評価判定委員会委員
- ☐立命館アジア太平洋大学外部評価委員長・尚絅学院大学外部評価委員長・創価大学外部評価委員長・京都文教大学外部評価委員長
- ☐「ひらく日本の大学」調査アドバイザー（朝日新聞・河合塾）
- ☐日本ヘミングウェイ協会評議員・事務局長

県

- ☐群馬県青少年健全育成審議会会長
- ☐群馬県教育振興基本計画策定懇談会座長
- ☐群馬県教育委員会の点検・評価委員会座長
- ☐ぐんま子どもの未来県民会議委員
- ☐群馬県男女共同参画推進委員会会長
- ☐ぐんま男女共同参画センターアドバイザー
- ☐ぐんま教育DXコンソーシアム運営協議会委員
- ☐「GUNMAグローバル人材育成事業」運営協議会委員
- ☐群馬県立桐生高等学校SSH運営指導委員
- ☐群馬県立前橋高等学校SSH運営指導委員
- ☐群馬県立中央中等教育学校SGH運営指導委員
- ☐福井県立三国高等学校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員
- ☐群馬経済同友会幹事・次世代育成副委員長

市町村

- ☐県都まえばし創生本部有識者会議座長
- ☐めぶくプラットフォーム前橋副会長・運営委員長
- ☐前橋市デジタル田園都市国家構想アーキテクト総括
- ☐前橋市社会教育委員
- ☐前橋市アーバンデザイン策定懇談会座長
- ☐前橋市 市街地活性化専門委員会アドバイザー
- ☐太田市立高校グローバル推進実行委員会副会長
- ☐前橋市立駒形小学校学校評議員
- ☐前橋市立木瀬中学校PTA幹事
- ☐前橋まちづくり公社理事
- ☐前橋市国際交流協合理事
- ☐前橋デザインコミッション理事
- ☐めぶくグラウンド株式会社取締役会議長

群馬県前橋市小屋原町